施 策 評 価 シ ー ト

1 総合計画上の位置づけ

担当課： 市民協働課

施策名	12 女性・若者活躍
政策名	「まち」を共に創る
施策がめざす将来の姿	・若者が集い、若者のアイデアによるまちづくりが進んでいます。 ・男性の家庭参画が進み、働きたい女性が望む働き方を実現するなど、女性がいきいきと活躍しています。

③ 施策評価指標

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標
高校生まちづくり事業実行件数	件	8	12

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
11	9	9		

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標
女性が働きやすい職場認定事業所数	件	32	50

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
44	51	59		

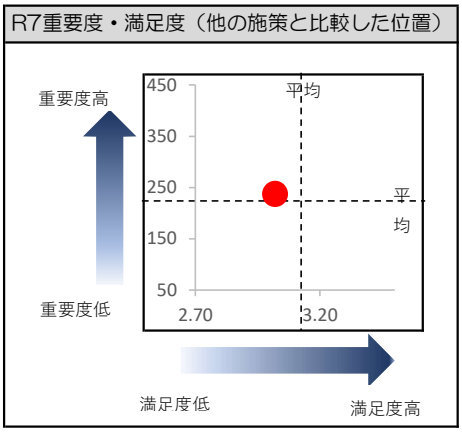
3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（人）
令和7年度
237

満足度（満足している市民の割合）／単位（%）		
令和6年度		**令和7年度**
86.0	→	86.4

※増減（→）の基準は３ポイント以上とする

R7重要度・満足度（他の施策と比較した位置）



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

・学業や就職で市外に転出する若者が多いことから、関市の魅力に気づき、自らが地域づくりの担い手となる意識を醸成することを目的に、若者が地域活動に参加する機会の創出を推進します。
・女性が働きやすい職場認定事業所が増加傾向にあることから、働きたい女性が望む働き方が実現できるよう、引き続き新規認定事業所の増加に努めます。また、女性の働く場所、働き方、生き方は多様であることから、関市が働きやすい、暮らしやすいまちであることを見える化するため、女性向けイベントを継続的に開催します。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業①：若者活躍推進事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性 事業費	方向性 成果	事務事業の今後の方向性	重点化
440	関市若者まちづくり団体・まちづくりプレーヤー登録制度	→	↗	就職活動を控えた大学生や高校生に対して、関市の魅力を発信するとともに、まちづくりの担い手となる意識を醸成し、Uターンや Ｉターンの増加を図ります。また、若者自らが地域づくりの担い手となり自己実現を行う機会の創出と支援を継続的に行います。若者が気軽に集い交流できる場所として「ユースセンター」を提供し、若者の「やりたいこと」の発見と実現を支援します。	○

事務事業②：女性活躍推進事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性 事業費	方向性 成果	事務事業の今後の方向性	重点化
1,585	女性が働きやすい職場認定制度事業	→	→	女性が働きやすい職場認定制度を更に周知するため、イベント開催時に認定証授与式を行い一般の方に公開します。 女性イベント事業の目的が達成できるよう、講演会の講師、マルシェ出店者を選定します。	○
	女性イベント事業	→	→		